

## 委員意見の反映

委員意見		意見の反映
○ 今後の展開について実現可能性の検討が必要	3 - ①、②、③	・各種団体へのヒアリングを行い、具体的な内容を提示。
○ 狭山池が目的で来た人も博物館に来てもらえるような仕組みが必要	2	・「地域魅力創造」の戦略として、狭山池の散策者なども含めた多様な主体がハード・ソフト施策により来訪促進する取組みを提示。
○ 常設展示の改良が必要	2	・学会等の協力を得て取組んでいくことを提示。
○ ホームページ中に展示物や資料の解説やアーカイブスを掲載してはどうか	2	・ホームページの発信力強化、資料・情報等のアーカイブ化に取り組むことを提示。
○ 全国唯一の土木主体博物館として存在感を示すべき	2	・日本唯一の土木博物館として、そのプレゼンス確立を目指し、連携相手の協力を得ながら土木事業・施設の役割や魅力の発信について取組むことを提示。
○ 現在の運営体制が機能し存続するよう検討が必要	3 - ① 参考資料	・施設管理者である大阪府と大阪狭山市が、狭山池まつり実行委員会の市民参画型の企画立案・運営等のサポートのもと、推進体制が継続・発展するよう、他機関連携、施設内外の活用場の場拡大等に取り組むことを提示。
○ 取組みによって生まれる新たな収入の自主財源化が必要	3 - ③	・本審議会の議論を踏まえ、庁内で検討していく。
○ 外部資金の取得を検討すべき	3 - ③	・新たな収入確保（案）として、助成金の取得を目指すことを提示。 ※狭山池博物館で取得可能な財団等の助成について調査中。
○ ユニバーサルな施設の改良が必要	2	・短期的取組みとして、幅広い層に対応できる案内の改善に取り組むことを提示。